

「M情報」活動企画運営団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日孝組の違法行為を自及する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 113
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木直美
 大阪府吹田市古江台2-10-13
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

だから「打倒民主」 「桜組」結成1周年

「尖閣沖中国漁船体当たり、船長不当釈放事件」の政府の対応。だから民主党ではダメなんじゃないですか。

「打倒民主!」桜組」結成1周年に思う

副代表 松谷祐子(三重)

民主党政権打倒を訴える桜組は、結成から一年を迎えた。その間拠点とする大阪難波高島屋前や東京はじめ地方にも遠征し、毎月一回、街頭演説、ピラ撒きを行ってきた。この一年、短くも長くもあつた。今夏の参院選では、民主党に単独過半数を与えないという、結成当時の課題を辛うじてクリアできたのは、民主党政権に危機感を持った全国の同志の皆さんが、艱難辛苦を乗り越え、街頭に出ての活動を展開してくれたおかげである。私達もいろんな方からのご指導ご支援、ご協力を賜り、まだある時は叱責も受けた。

一番心に残るのは、土屋たかゆき都議が来阪され、共に高島屋前でマイクを持つてくださったこと。その時の土屋先生の演説は、まさに「慟哭」であった。一般行人の多くが立ち止まり、演説に聞き入り、拍手喝采を浴びながらの演説に、私は先生の政治家としての信念、日本を護り抜くという気迫を感じた。口先だけの美辞麗句や新聞記事からの引用では、決して大衆の心を引き付けることはないし、最新の情報を文脈正しく話すだけでは、誰も耳すら貸さない。土屋先生の演説は魂の叫びであり、天下一品の「アジテーション演説」であった。また、岡山に遠征した時には、現在は自民党国対委員長という重責を担われている逢沢一郎衆議員が、「通りがかったら演説の音が聞こえて・・・」と言って、激励に駆けつけてくださった。

高金素梅が再び、靖国神社に現れるという情報から、4月と8月には東京九段下まで出向いて、現地の仲間の方々にご協力いただき、大街頭演説会、国民集会のお手伝いもさせていただきました。



平成22年9月5日 大阪難波高島屋にて

またこの一年を通して、外国人参政権に反対する会の村田春樹氏には、桜組の顧問的な立場で、全力サポートをしていただいている。東京での活動は、氏の全面的な協力無くしては成り立たないし、また、山陰松江や大阪にまで足を運んでいただき、共にマイクを持って下っている。

桜組は打倒民主党を掲げ、明日から活動二年目に突入するが、一日も早い解散総選挙、政権奪取を目指したい。7人の女性だけで結成している桜組は民主党政権終焉の日まで街頭で地道にコツコツ

《3頁4段目へ》

「打倒民主! 桜組」1年間の活動報告

【平成22年】

20号	9-19	伊勢神宮浦田駐車場前	街頭演説・ピラ撒き	「外国人参政権問題を考える三重の会」支援
19号	9-5	大阪難波高島屋前東口	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
17号	9-5	大阪上六たかつガーデン	講演	「一日会」にて、副代表梶谷萬里子、松谷祐子
16号	8-7	大阪難波高島屋前東口	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
15号	8-7	サムティフェイム新大阪	講演会運営支援	「百人の会」にてヒゲの隊長(佐藤正久参議院議員)
14号	8-1	東京九段下	街頭演説・ピラ撒き	「靖国神社に眠る御霊に感謝する会」と共催
13号	8-1	麴町警察署	要望書提出	「靖国神社に眠る御霊に感謝する会」と共催
				①靖国警備強化 ②高金素梅の鋭意捜査
12号	8-1	文京区民センター	集会運営支援	「高金素梅に二度と日本の土は踏ませない国民大集会Ⅱ」
11号	6-22	宝塚市アピアホール	集会運営支援	山谷えり子前首相補佐官の決起集会
10号	6-22	岡山市石山公園	デモ参加	「売国民民主党撲滅 アピールデモ in 岡山」参加
9号	6-20	JR岡山駅西口前	街頭演説・ピラ撒き	逢沢一郎前外務副大臣が激励に。
8号	6-6	伊勢神宮浦田駐車場前	街頭演説・ピラ撒き	「外国人参政権問題を考える三重の会」支援
6号	5-23	近鉄奈良駅前噴水広場	街頭演説・ピラ撒き	奈良県は「参政権反対34県」に入っていない
5号	5-23	大阪難波高島屋前東口	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
7号	5-16	大阪阪神野田駅前	街頭演説・署名	救う会大阪の活動に古賀俊昭東京都議とともに参加
4号	4-4	文京区民センター	運営支援	「高金素梅に二度と日本の土は踏ませない」国民集会
3号	4-4	有楽町マリオン前	街頭演説・ピラ撒き	「靖国神社に眠る霊に感謝する会」と共催
2号	4-4	九段下(靖国神社前)	街頭演説・ピラ撒き	「靖国神社に眠る霊に感謝する会」と共催
1号	4-4	靖国神社	参拝	活動の本旨を己に確認
21号	3-14	津(三重県)駅頭	街頭演説・ピラ撒き	「外国人参政権問題を考える三重県民の会」支援
16号	2-28	大阪難波高島屋前西口	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
15号	2-28	大阪難波高島屋前東口	街頭演説・ピラ撒き	土屋敬之東京都議会議員と一緒に「NO! 民主」
20号	2-21	出雲大社	参拝	出雲大社に公式参拝
13号	2-21	松江駅前	街頭演説・ピラ撒き	「竹島を奪還する会」と共催。小沢秀多県議参加
19号	2-18	韓国領事館前(大阪心斎橋)	街頭演説・ピラ撒き	「竹島の日」を前に、「竹島を奪還する会」と共催。
18号	2-14	大阪難波マルイビル前	街頭演説・ピラ撒き	「竹島の日」を前に、「竹島を奪還する会」と共催。
17号	2-14	大阪厚生年金会館前公園	デモ運営支援	「竹島の日」を前に、「竹島を奪還する会」と共催。
14号	2-14	大阪難波高島屋前	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
12号	1-24	大阪上六たかつガーデン	講演会共催	村田春樹氏を招き、「外国人参政権反対する会・関西」と共催
11号	1-24	大阪難波高島屋前	街頭演説・ピラ撒き	村田春樹氏を招き、「外国人参政権反対」

【平成21年】

9号	12-20	大阪阪神野田駅前	街頭演説・署名	救う会大阪の月例街頭署名に支援参加
10号	12-20	大阪豊中市阪急曽根駅前	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
8号	12-20	大阪難波高島屋前	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
7号	11-29	大阪上六たかつガーデン	陳情	中山成彬前大臣に、「打倒! 民主」を陳情
6号	11-29	大阪難波高島屋前街頭演説	街頭演説・ピラ撒き	主たるテーマ; 外国人参政権反対
5号	11-29	大阪豊中市阪急曽根駅前	街頭演説・ピラ撒き	元民主党副代表中野寛成事務所にて
4号	11-8	近鉄四日市駅前	街頭演説・ピラ撒き	地元岡田外務大臣の失政、三重教組問題、参政権問題
3号	10-18	津市内	動画録画	「桜組」の立場を表明
2号	9-26	大阪梅田ペコリーノ	設立総会	
1号	9-26	大阪難波高島屋前	街頭演説・ピラ撒き	「桜組」第1声! 主たるテーマ; 外国人参政権反対

次回の予定

計画は予期せぬ事情で変更する場合がございます。直近にお電話で確認ください。090-3621-1509

10月17日	11:15~	大阪難波高島屋前	街頭演説・ピラ撒き	外国人参政権反対
	14:00~	豊中市阪急曽根駅前	街頭演説・署名	救う会大阪の街頭署名に支援参加
11月7日	14:00~	大阪難波高島屋前	街頭演説・ピラ撒き	外国人参政権反対
	16:00~	大阪難波高島屋前	街頭演説会	御皇室を護ろう!

教育正常化裁判を支援する会

古賀俊昭東京都議、東京高裁で「過激性教育」の異常性を証言

古賀俊昭・土屋敬之・田代博嗣ら三都議は平成十五年、東京都立七生(なお)養護学校(現・七生特別支援学校、日野市)等で行われている東京都の性教育の実態について調査し、石原慎太郎都知事も驚愕して述べた「グロテスク」な過激性教育の現状を明らかにしました。そしてこれを機に全国で公然と罷り通っている子供の発達段階を無視した異常な



H22-9-14 東京高裁の前で教育正常化を訴える増木重夫

性教育を早急に是正すべきこの機運が高まりました。ところがこれに逆上した同校の性教育過激派教員等と降格処分された元校長(三十一人)は、精神的苦痛を受けたとして三都議、都教委、東京都、そして実情を報道した産経新聞を平成十七年五月十二日、東京地裁に損害賠償等を求めて提訴しました。この裁判の判決が平成二十一年三月十二日に言い渡されましたが、内容は、都教委が学校現場から回収した男女の性器付人形等の不適切教材の返還等は却下したものの、三都議が行った一般的な学校視察を「不当な支配」に当たると重大な誤認を犯しています。これは子供を実験台にしたおぞましい過激性教育の実態を無視した許し難い偏向判決であり、到底承服できません。

三都議は、即東京高裁に控訴しました。ここで9月14日、控訴人の一人である古賀俊昭都議が、独善的思想を背景にした過激性教育の是正と学習指導要領に違反する教育を批判するのは議会・議員の職務であるとの我等の主張に立って証言いたしました。

とにかく下の写真を見てください。キャプションをつけようがない。しつて言うなら「アダルトショップ『七生』大人のおもちゃカタログ」とでもつけまじょうか。これらを「性教育の教材」と称して教員たちは授業で使用していました。

もっと早い時期に議員がきちっと学校を見回っていたらこのようなおぞましい事態になっていなかったのではないか。と言ったら、議員に酷でしょうか。



《←1頁より》
と訴え続ける覚悟は変わらない。
私達の運動は、「暗い夜道の遙か遠くに灯る、一本のろうそくの火を信じて、それだけを目指して歩むこと」であり、途中で躓き転ぶことがあったとしても、進むべき道は決して誤ることないと、核心している。

我々は何故、「打倒民主!」なのか。それは今回の尖閣沖の中国漁船体当たりに対する政府の対応を見ればわかる、それが答えの全てである。

父や祖父たちが命懸で護ったこの日本。2600年の伝統と文化。護りきらねば。尖閣、竹島、北方4島・・・日本固有の領土。我等の人生と誇りにかけて。

尖閣の漁船体当たり事件 私も一言 松谷祐子(三重)

「中国人船長、処分保留で釈放へ」きつとこうなると思っていたよ・・・。
経済偏重の拜金日本、政治は三流、一般国民は平和ボケの国際音痴だらけ。
これで「尖閣諸島は差し上げます。近い将来、支那さまの属国になります。」と宣言したようなものだ。
何時までも普天間で迷走しているから、こんな代償を払う破目になったのだ。国家転覆を謀る民主党に政権を担わせたのは、痛恨の極みである。

直ちに今後の対中外交、尖閣周辺の防衛強化、普天間移転問題の一日も早い解決を模索するべきであるが、全く期待できない面々が担当各所に居座っているのが現状である。本当に悔しい。

松谷祐子(三重)

土屋敬之 陳露 今月も吼表も語る

昔、佐藤榮作元総理がノーベル賞受賞のお祝いの会が九段会館であった。

その時、旅行家で有名な兼高かおるさんが、『これからの愛国心は勉強することだ』と言っていた。私は当時、大学生だったがこのことが胸に響いた。

佐藤総理も立派な挨拶をされたと思うが、記憶にない。ちなみに佐藤総理は、後に急逝する。その最後の街頭演説の司会をしたのは自分。青島幸男議員が、「総理は財界の男めかけ」だと予算委員会で発言し問題になったが、当時の「サンケイ」新聞に「総理に対して失礼だ」と人生で初めて投書をしたのが18歳の時。

佐藤総理の話は別にして、人間にとっ て勉強することは必要なことだ。私の熱烈な支持者に利発な女性がいる、お母さんの話だと「試験中でも9時には寝ていた」そうだ。こう言う秀才は別だが、大抵は努力をしないと成績は上がらない。

獨協高校で、天野貞祐先生(カント哲学者・京大教授・吉田内閣文部大臣)から「指導を受けて、がぜん、勉強に興味を持つようになった。」

ただ、私は凡人だから、人の何倍も勉強をしなければならぬ。ある広告に、「勉強時間をかけるのはダメだ。勉強の方法を教えましょう」とあった。

合理的方法を教えてもらっても、「理解力」はどついても差がある。問題は「方法」ではなく、「理解力」であって、この

広告はその本質を見誤っているか、意図的に商売としてそう言っている。今、午前2時だが私はアルコールを一切飲まない。飲まないから会合も少ない。

最低限しかない。なくても4回当選出来た。そもそも、議員の仕事は酒を飲むことではない。従って夜、時間がある。あれば、資料を読む。興味あるテレビも見られる。(ほとんど見ないが)資料を読み本を読み、インターネットで検索して勉強している。

今、実は、新しい勉強を始めた。内容は内緒だが、最低、4時間は集中してやっている。予定がなければ、もっと出来る。勉強の単位は最低2時間だと思っている。何故か。その位ないと、専門書は理解出来ない。興味のあるあらゆるものが、実は自分の力になる。何故、ネイリストの資格を取ったかと思議に思われるかも知れないが、興味があったから。

秀才は別にして、勉強はいつもきちんとすべきだと思っている。勉強して専門分野を作れば、議会質問など一日で完成出来るし、雑誌の原稿も同じだ。知らない分野に興味があれば、勉強すればいい。秀才ではないから、すぐには理解出来ない。時間がかかる。なら、かければいだけのことだ。

私が一番勉強したのは、東北歯科大在学中だ。35歳で入学した。(現在・奥羽大学歯学部)医系は特に進学過程は何とかなったが専門課程は何しろ大変だった。厳しい実習もあったし一日相当に勉強した。風呂の中でコピーを持ち込み暗記をした。それでも、追試、再試は随分と受けた。

途中で病気になる、薬を飲んで頑張った。登院試験と言つものがある。5年になつて、座学(講義)の試験を全て受け、合格しないと臨床実習に入れない制度だ。国立系にはないようだが、これがまた大変だった。

議員はもっと勉強しなければならない!

薬の副作用もあり、一年目は不合格。二年目に合格して晴れて、白衣も正式なものとなり、臨床実習が始まった。ここまでが大変だった。

小テストは毎日、実習も毎日。機材の点検も完璧にしていなくて、実習が出来ない。技工布の上不足している機材があれば、文句なくダメ。並べる順番もある。誰もそれを教えてくれないから、夜中に点検に行ったこともある。

出来なければ単位が取れない。取れなければ留年。今、私が性格的に細かいのはそれが原因しているかも知れない。留年すると、不合格の科目だけ履修と言つ私学が多いが、東北歯科大は、全科目再履修。大変な負担だ。

残念ながら、病気の関係で、どうしても通学が出来なくなった。後、少し。大好きな仙台で開業しようと思つていたが、それが直前で、どうしてもこらえ切れなかった。今なら、薬が第四世代にすすんでいるので、卒業できたが、自分の頃は、第一世代。副作用が並大抵ではなかった。その中で5年まで頑張ったのは、精神力。後、努力。これは、一生の無念だと今も思っている。その後、療養して政界に復帰し、都議会議員になつた。選挙は、勉強と恋愛と同じだと思つた。

勉強は決めたらやらなければならない。遊びと両立する人間もいるが凡人はそうはいかない。理解するには時間がかかる。選挙も同

じ。やると言つたら、最後まで妥協せずやらなければならない。人の気持ちをつかむのも恋愛と似ている。真剣に演説しなければ、人の心は打たない。私のような政治家は「変わり者」かも知れないが、名譽や、地位に執着し、毎日宴席に出ている、一体いつ勉強しているのか分からない議員が国会を含めて多い。それで、国が良くなるわけがない。何事も、一所懸命。

今更、人格も変わらないし、変えるつもりもない。国の名譽を守ろうと頑張っているが、所詮、地方議員。しかし、いつか出番が来ると確信している。それには、準備が必要だ。勉強が第一。演説に切れが出る。自信が出る。

野党で暇な自民党の皆さん。一部の代議士は別だが、大方の議員は何をいっているのか? この国難を目前に。「これからの愛国心は、勉強することだ」と言つても無理か。となれば、この国は滅びる。国と、自分の地位、名譽のどちらが大切か、お聞きしたい。

皆さんは、「一心」国権の最高機関を構成する一員でしょう。革命政党政民民主党に対する追及、攻撃はどこに行つたのですか? 先の国会でやった。あれが追求? 菅談話が出てから、「抗議集会」をしている。逆じゃあないですか。そもそも、河野談話は自民党政権で出した談話。それがこの日本を縛っている。その「総括」なくして、民主の追求はあり得ない。

防衛費を削り、日教組大会に文部大臣を送り込み、教科書検定を形骸化し、シエンドーフリーを見逃して来たのは、民主党革命政権ではなく、「自民党政権」です。不勉強が、全ての要因。酒を飲んでいる暇があれば民主党の革命戦略を勉強すべきです。

《次頁3段目》続く》

土屋敬之東京都議、もう一本
北京、ソウルはチンピラ以下だ！

「M情報活動報告」はあくまでM情報の活動報告であり、余談として各位からの論文も掲載しようと言つもの。土屋敬之東京都議の御用新聞でも議員の後援会便りでもない。しかし議員のレポートは楽しいのだ。他のどれよりも私は楽しい。自然な気持ちとして是非皆さんに読んで頂きたい。

議員は選挙が全て。選挙を意識して穩便にソフト路線で行くか。選挙を意識して本音路線で行くか。議員の行動が別れる。

土屋議員が過激なのではない。単に直球勝負が好きなかだけ。お茶や酒の席では彼と同じ話をする議員は多い。しかし議員たるもの、お茶や酒の席で演説するなよ。と言いたい。署名論文、公開演説で思想を訴えるべきではないか。

土屋議員とてお尻が青い年ではない。しかし政界は死ぬまで直球が通用する。そう思った世界であつて欲しいと思う。

以下の記事は、22日、産経新聞からの引用だ。まずは「一読いただきたい。」

中国・北京市への来月中の訪問を予定していた東京都の石原慎太郎知事は21日、尖閣諸島沖で起きた中国漁船衝突事件への中国側の強硬姿勢を受けて、「あんな不愉快な国には頼まれても行かない。閣僚級交流を停止するというのが、私は閣僚級以上ですから」と述べ、訪中を取りやめる意向を示した。

石原知事は同日開会した定例都議会の後、報道陣に対し、「中国がやっていることは理不尽な、やくざがやっていることと同じ」と怒りを見せ、「何で政府は実行処置をとらないのか。例えば日本の潜水艦が韓国や北鮮、中国の領海を侵犯したら爆雷を落とされる。何で日本はやらないのか。防衛省はアメリカとの防衛演習を尖閣でやればいい」などと語った。

さらに石原知事は、尖閣の問題が「日米中関係の試金石になる」と指摘。「アメリカは必ず化けの皮をはがす。日本に対し、アメリカが動かないということになれば、東南アジアにおけるアメリカの權威失墜が歴然となる。世界の不信を買う最初の取っかかりを作るのは尖閣だ」と力説した。

一方、11月に東京でアジアの大都市がアジア地域の発展に取り組むために結成した「アジア大都市ネットワーク21」の総会が開かれることを指摘された石原知事は「中国がアジアにとって迷惑な存在だったら、皆で防がないといかん。日本も過大な努力をしなくてはいけない」とした。

石原知事は世界の都市の持続的發展を議論する国際フォーラムへの参加や、中国の政界の要人らと会談するため、2008年の北京五輪開会式への出席以来2度目となる訪中を計画。しかし、中国漁船衝突事件の展開次第で、中止も検討していた。

この、「石原発言」は、常識的な発言だ。自国の領土を侵犯され、油田を盗掘され、領土侵犯と盗掘は「別の問題だから持ち出さない」と民主革命政権首脳は発言した。

このような、自国の利益を無視した、と言つより、主権意識の「欠落した」政府があるだろうか。世界には200近くの国家がある。戦後、100を越える、実質、戦争があった。これもこれも、主権の衝突だ。バカな「平和主義者」は、国際政治の冷徹さを無視して、「話し合い」と「融合」と主張するが、では、それを民事に置き換えて、天文学的な民事訴訟が国内にあることをどう説明するのか。自国民の間でさえ、民事訴訟がある。まして、巨大な権益

を知らない政治家は世界にまらである。(例外に、西田議員・自民京都などはいるが少数だ)ことにあきれ返ると言つより、「絶望的に」なる。

今、宮内庁にある、李朝からのものは、献上品。収奪したものではない。外交儀礼で、仮に北京の指導者でさえ、献上品をもつてくるし、答礼品もある。

それとイギリスの大英帝国博物館に陳列されている財宝は強奪品が同等と思う、稚拙さにはこれまた呆れる。

無知とは恐ろしいもの。それが外交を担当するとなると、わが国は「餌食」となる。一度、飢えたライオンの檻にこんな連中を入れて見たらいい。世界の常識が分かると言つものだ。

よる、暴虐への謝罪と賠償。パチンコの禁止。こうした強行姿勢は、外国では「常識」の部類に入る。かつてのフォークランド紛争を思い起こして欲しい。英国は、このヤギしかいない領土奪還に、王族も含めて、軍を派遣。奪還した。国家とはそう言つものなのだ。

知事は「やくざ」と言っているが、きちんとした「やくざ」はこんなことではない。「チンピラ」がやる。つまり、北京、ソウルはチンピラ以下だ。

日本の国旗を、ソウルの国会議員が「踏みつけて」行進している「映像」がある。何故、マスコミは報道しない。政府は、政党は抗議をしない?!

だから、北京などは、アヘンを持ち込んだ英国には「一言の抗議」もしないで、唯一、わが国にのみ、「なん癖」を付ける。これは、全て、国会に責任がある。

こんなことだから、マッカーサーに「日本の民主主義は小学生だ」と言われる。情けない。

だから、北京などは、アヘンを持ち込んだ英国には「一言の抗議」もしないで、唯一、わが国にのみ、「なん癖」を付ける。これは、全て、国会に責任がある。

こんなことだから、マッカーサーに「日本の民主主義は小学生だ」と言われる。情けない。

仲間達から活動報告

現状の日本と日本国再生の処方箋

岡山 今村親登資

現在我が国の現状はこの様な状態ではないかと思えます。

政界、官界、財界、マスコミ界は全て日本人の良俗、道徳を破壊し我が国を亡国に導く利敵行為者の代表ではないでしょうか。

I 政界。西尾幹二氏曰く、自民党は左翼、民主党は外国人、田母神氏は日本の政治家には親日派が居ないと。言い得て妙。

自民党は親米派(ニューテイラー)の官僚制度)ニューテイラーは社会主義者、当然左翼。中曽根康弘の靖国神社参拝の中止、三木武夫の非核三原則、宮沢談話、河野談話、自民の帽子を被った村山談話、等反日、利敵行為は枚挙に暇がありません。

現在も行われている日米地位協定、構造協議等。今、秋田犬、忠犬八公が世界で有名になって居ますがボチ公振りには国際政治では漫画にも為りません。此れが戦後政治のの実情です。

民主党は云わずと知れた外国人(シナ派)生粋の極左政権、シナ人民解放軍の野戦指揮官と自分で言っている。正に外国人。左翼当たり前。革マル派、JR東海に支持され当選した枝野幹事長、中核派の代表千石官房長官、何をか言わんやである。今こそソコソと進めている亡国13法案どれを見ても外国人の為の法案、外国人に恥を知らねば通じないが、情けない。爺ちゃん人は人種差別主義者ではないからシナ人、朝鮮人、何処の人種であろうと、朝鮮人、

何処の人種であろうと、金美齡さん、石平さんの様に日本国に忠誠を誓いロイヤリティーを払う覚悟の人は歓迎です。

今多数の民主党議員の外国人は即、国外追放したいものです。スパイ防止法の成定が急がれます。次の国政選挙には我われ日本人は自民、民主には一票も投票しない。II 財界、市場原理主義(米)日本人離れした利益追求だけの親中、媚中派 丹羽宇一郎を見よ。

トヨタのリコール問題、シナ進出企業の内幕、此れは政治の仕事かも知れないが明治の先人が泣いている。

III 官界、教育界 官僚機構はレッキとした社会主義体制、ニューテイラーは社会主義の代表選手 先ず国家公務員、地方公務員の半減で対応しよう。彼等はタックスペイター使用人、われら草莽はタックスペイアー雇い主である。任命、罷免権は我々に有る。何処の世界に使用人に振り回されて居る雇い主が有るであろうか。無礼者の世界である。

日教組、日本の教育と道徳を破壊した学校には子供を通わせない。一年か二年辛抱すれば、学童、生徒の居ない学校は崩壊します。

私事で恐縮ですが、三十五年前日教組の創った教科書で勉強する中学、高校に進級できるギリギリ線までしか通わせませんでした。非行はダメ、よく本を読んで好きな勉強をする事を条件で、今四十歳半ばですが人並みに頑張って居ます。

IV 言論界、亡国マスコミ朝日を始め共同通信配信のローカル紙等は購読しない。

NHKに聴視料を払わない。此れも払いたくても一二年辛抱すれば日本の癌は必ず摘出できます。一、二年新聞を読まなくても、テレビを視なくても人は死にませんが此の儘の状態を放置すると日本は確実に死に至ります。私は四十年来NHKの聴視料は払っていません。

昭和五年、日露戦争勝利の後四十年間アメリカのオレンジプランによる謀略、敗戦後六十五年間、ソ連、アメリカ、シナによる虚実のプロパガンダの洪水、この洪水に我が国は土囊を積んで対応している様にか見えません。今こそ草莽がクッキして草莽の壁を立ち上げるのです。

この壁で嘘の洪水をシナ海に撥ね返すのです。マルクス殺しの哲人ハイエク博士が仰いました、我々は社会主義者から何一つ学ぶ事は無い、ただ一つ習うとすれば嘘でも何でもヒツコクヒツコク言い続ける事だと。

我々草莽も日本人の真実を言い続けましょう。永い間止まるところ無く言い続ければ虚実と真実は必ず逆転し、真実が勝利します。

天の時は直ぐ来ます。

それは来年の全国統一地方選挙です。都道府県全自治体の議会に過半数の候補者を立てるのです地方議員であれば三十万円も有れば被選挙権は行使出来る筈です。先ず貴方自身の為に、先人の日本人、現在の我々、未来の日本人の為に平成の竜馬、西郷、高杉に為ってください。我々草莽は必死で応援します。

お金もそんなに掛かりません。河村名古屋市長の様に自転車部隊を結成するので。各自自治体の立候補者は結集、連携して選挙戦を戦ってください。全国で何万人かの自転車部隊を編成するのです。これができ

れば出現すれば壯観です。此れが不敗の草莽の力です。

我が日本国の最終戦の心算で、平成の竜馬、西郷より立ち上がれ此れはこの列島に生まれ込んだ何十億人かの共有の記憶を持つ日本人の総意です。必ず勝利できます。

真正保守を結集して下さい。そののです。フジテレビ、産経新聞、正論、WILL、新潮45、各界、各層の草莽の皆さん。お願い致します。

日本会議、真正保守を標榜する組織、団体、個人の皆さん来る全国統一地方選挙の立候補者、平成の志士に全力を挙げて支援して下さい。重ねてお願い致します。

神武以来二千六百七十五年国家として歴史を有する我が日本を崩壊させては為りません。我々日本人の責めです。

政局峠 岡山 西川晃男

今は亡きムッチーの『人生峠』の替え歌を民主党のPRページへ投稿しました。

♪ ひとつ潰せば 又ひとつ

続く民主の 亡国法

諦め通すと 国滅びるぞ

ここは踏ん張り ここは踏ん張り

止めねばならぬ

同志居りゃこそ 俺たちも

元気に頑張る デモ行進

黙っていたら 好き放題だ

共に声上げ 共に声上げ

やらねばならぬ

民主よ驕るな 何時までも

自民も駄目だ この儘じゃ

特む新党も 力が足らぬ

日本の政治よ 日本政治よ 目覚めよ早く

教育ニュース 吹田・豊中の活動報告

「ニュータウンの末路(千里の場合) 学校、地域崩壊の現状」

取りあえず、次の手紙を読んでいただきたい。話しは少々古くなるが私(増木)が中山成彬前文部科学大臣に出したものだ。

「A校長より直訴」の事情

去年の秋以降、卒業式における国旗国歌の取り扱いに関し、順次いくつかの学校を訪問させていただいておりました。その時偶然にもT小学校の秋川(仮)教頭にお会いできました。詳細は後日(中山先生に大阪頂上前に)、書面にまとめてお送りさせていただきますが、吹田市のM中学校区では「準養護世帯」が全生徒の70%を越え、全国1位となっております。先日TVの報道番組で、東京都足立区で46%、「たいへんだ」「などと」言っていました。思わず、「たかが46%くらいなんだ。」とつぶやいてしまいました。

それで、そのM区を中心とする、準養護世帯の家庭不毛に起因する校区単位での教育崩壊の実態を知りました。先生は、「国旗、国歌が大事なことは百も承知している。生徒に国家観を教えたい。しかし今はそれどころではない。子供たちにまともに食事をさせるほうが先。本当の家庭が無理なら擬似家庭でもいい。とにかく家庭の本当の暖かさを教えたい。」と語られました。福祉の充実、(〇党の言う)「暖かい家庭...たいへん耳障りのいい言葉です。しかし、家計を生活援助資金に頼り働かない、勤労意欲の失せた親。そのような親で

すから心はさび付き、当然子どもの食事は作らない。「立てばパチンコ、座ればお酒、歩く姿はカラオケ通い。」「コンビニの弁当は大繁盛。笑うに笑えない現状です。このような環境で育っている子供に...「健やか。」「云々は次元の違う話で、私はその時、北朝鮮の子どもを思い出ししました。時空において点で生きています。余談ですが、私は「救う会大阪」の事務局長もしており、以前鹿児島で、恭子参事と行動をとるにさせていただきました。そのようなわけで北朝鮮事情には少々詳しいのですが、決してオーバーな話ではないと思います。

さて、秋山教頭は、「生徒達を全員少年院に入れてほしい。あそこなら三度の食事は保証されているから。」とまで言いました。先生にここまで言わせる中央行政の責任は軽くないものがあると思います。この件は地方だけでは到底解決がつかず、「必要な福祉資金の垂れ流しが原因」と私達は考えています。

中山先生が来阪されることを先生にお話ししましたら、「是非話を聞いていただきたい。」と申されました。在任中叶わなかった、吹田でのスクールミーティングを今からお願ひしたいというわけです。なお、この件は、大変勝手ながら、秋山教頭のお立場がございまして、一切【秘】でお願ひしたく思います。

M中学校秋山教頭の談話(1月6日)

今まで公開質問状等を頂いても、文書回答はしたことがない。「国旗、国歌」の賛

成派からの意見というのは初めてのことだ。学習指導要項に則り、それを遵守するのが校長の務めだと思っている。自分の意思を貫く覚悟でいる。市教委には人事権がなく、府教委が人事を握っている現状にシリンマを感じている。職員との論争も絶えない。若くて情熱のある教師が欲しい。本校の子どもは、精神の危機にあると思う。国旗に敬意を払うのは当然のことだが、壊れた家庭の子供達が、「国家」意識を持てるのか疑問だ。本校の在校生は、70%が「準・要保護家庭」。日本で一番多い地区。学校近くの団地から通う子どもが90%。その団地に70%の「準・要保護家庭」。

一生懸命働いておられるお母さんもあるが、子どもが3人いれば月額23万ほどの生活保護がもらえる。〇〇党が引く張ってくる。「ここに入れば生活保護がもらえやすい。」と引く張ってくる。そして事実もそう。勤労意欲をなくした親、子供は居場所がないと感じている。どこか、この学校の近くに「擬似家族」が体験できるような施設が出来れば...と思つ。

子どもは「家庭の愛」「親の愛」「家族愛」というものに触れることなく、知らないまま育つ。修学旅行の日、お弁当を子どもに手渡すときに、わざと下に落ちて食べられなくした母親がいた。子供が喜ぶ姿が耐えられないという。障害児が在籍しているが、「先生はなんで優しくするん?こんなんやのに。」と聞いてくる子どもがいる。障害児を苛めてしまつ。弱者に優しくすることができない。連絡なく学校を休む子がいれば、すぐに駆けつけシステムができています。民生委員さんとも協力して、子供達に目が届くよう留意している。民生さんと「こんなんやったら、少年院でも入ったほうが幸せなんじゃないだろうか?」と会話することがある。

それほど「家庭」が壊れている。打ち解けてくれた子は「先生、見せたらか?」と言って、おなかを出す。わき腹や腹部にあざがいっぱい残っている。虐待された跡だ。これは、生活保護や福祉といった「お金」で解決できることではない。「自分のためじゃない。人のために役に立つことが大事なこと。」と、いつも子供達に言っている。人の役に立つことで、国家感を持たせられたら...と思っている。

この学校に、教師、教頭時代を足して10年勤務している。16、7歳で出産した教子の子供も通ってくるようになった。教子の顔を見るのが、一番幸せだ。

さて皆さん、これを読まれて何を感じられたでしょうか。先日大阪市西区で1歳と3歳の子供が23歳の風俗嬢の母親から1週間以上も放置され餓死した。少々距離はあるが西区の事件はニュータウンの当に発展型ではなからうか。

千里ニュータウンは大阪万博のとき建設され、当時は全国屈指の最先端団地。街は子供や若者であふれていた昭和の発展に寄与した。塾が本業の私もかなり稼がせていただいた。ところが30年経った今、事情が一変する。まず、一戸あたりの広さが約50mの2DK。あと付けで作ったが新築当初は風呂も無かった。そして5階建てのエレベーターなし。いまだそんな団地に誰が住もつか。特に若者はリッチ傾向が強く敬遠する。街の空洞化が加速。ニュータウンの小中学生はピーク時の半分もない。言ってもしょうがないが都市設計、街づくり行政の失敗だ。そのようなわけで空き家だらけ。治安も悪くなる。そこに目をつけたのが福祉大好き〇〇党。近畿一円から母子家庭を引っ張ってくる。入居

緊急寄稿

尖閣領海侵犯事件 空花正人(東京)

菅・仙谷ラインによるフランクフルト学派的な新左翼革命政権が国益を毀損するような失態を演じてくれるのは、或る意味反面教師である。自民党政権下でも対中国外交無策で、優柔不断な態度をとり続けてきたことの延長線でもある。

「教科書検定近隣諸国条項」「靖国参拝中止」「遺棄化学兵器処理」などいかに多くの外交案件が媚中派にしてやられた事なかれ主義で誤魔化されてきたか。枚挙にいとまがないではないか。

「打倒民主党政権」を訴えることは当然であるが、自民党が反省しない限り次の政権交代にはならない。有権者はまだ自民党を許していない。先の参議院選挙前に有力な政治家が離党してまで作った政党や政治集団も評価には程遠い。

尖閣領海侵犯を「領海侵犯」で捕えずに、長時間かけて結論を出した法的根拠が公務執行妨害容疑である。それなのになお処分保留で釈放し、石垣空港の運用時間(夜間離発着禁止)などお構いなしにチャーター便の枠を那覇地検記者会見直後に即座に与えるなど「格別の高配」までしてやっつて、盗人に追い銭ではないか。国内法で肅々とやるならチャーター便は翌朝でよかったはず。なにからなまでに支那ペースで進行した茶番劇であった。

恩を仇で返すような「謝罪と賠償」を要求し、無実の企業戦士(※参照)を勾留し続ける支那政権の傲慢な態度には、さしもの鈍感日本人・マスコミも反応した。国際的に自己主張する、言うべきことを言う当たり前の国に脱皮するチャンスが巡ってきたと思う。日本人好みの「大人の態度」は

《↓前頁より》

の世話から学資援助、生活資金の確保まで至れり尽くせりの手厚いサポート。そして物はついでに男女共同参画、ジェンダーフリー等々、法律を作ったり、世論形成を行い簡単に離婚できるようなお手伝いまでする。

千里には「団地の外車」ということばがある。夜駐車場を見回るとやたら外車が目につくのだ。世の中「弱者救済」の名文でドンドンバラ撒く。それが高級車に化けるといふ寸法。そのため「偽装離婚」も多い。うちの塾(私の生業)の入塾調査票を見ると母子家庭。ところがいつも「お父さん」なる人が迎えに来てい。何かの会話で「お父さんが」とい、あわてて口を押さえる生徒。彼らの親の教育方針を聞いてみたいものだ。そして選挙となると、自分たちの似非貧困利権

《↑上段より》

「事なかれ主義」の隠れ蓑である。領土を守るの国民の意思の結集が必要であり、普段の国民教育によってしか護れないにもかかわらず政府は国民に領土教育をしてこなかった。

今こそ尖閣も竹島も北方領土も正確な事実をまず国民に説き聞かせ、そして国際世論に訴えるべきである。領土教育は何も偏狭なナショナリズムを煽るものではない。強い日本の意思を見せること、不毛な紛争をこれ以上繰り返さないための抑止力になる。逃げるものは追われるのが定めである。

※ 今なお拘束されているフジタの社員はまさに遺棄化学兵器処理の任についている。支那が「尖閣船長」の拘束を糾弾するなら日本(日本の世論)はフジタ社員の即時解放を求めるべきであらう。

を護る為一斉に集票マシンになる。利権自民党も真つ青だ。

昨日、貧困ビジネスなるものが巷間はやっているが、ここではそれに「集票ビジネス」という高度なテクニクが加味されているのだ。

先日「百人の会」の集会があった。そのときの質疑応答でS氏が「泉北ニュータウン(堺市)」について話した。これも情況が千里と全く同じのようだ。さらに調べると阪神間の尼崎も同様であったという。ところがここは阪神大震災で街が壊滅。中途半端な団地が全て崩壊。そして新しく立て直した。現代のニーズに應えたままありリッチな団地。入居は全て抽選。ビジネスマン(?)が暗躍する余地がない。一気に団地問題は解決。千里も地震でガラガラポンをしない限り正常化はありえないだろう。結局これは政治の問題。私は当時の政権与

党がこのことを知らないのかと思った。百も二百も知っている。ところが〇〇党に骨の髄までお世話になっているから言えないのだ。建築関係の利権は自民に、福祉関係の利権は〇〇党に。上手いこと済み分けているのかもしれない。

今更言うまでもないが、常にニュースの上位ランキングに入っているのが「いじめ」と「虐待」。そして「人権が大事、人権が大事」「子供の人権が護られていない」などとトンチンカンな評論。

これらの社会問題の解決には、「人として誇り持つ」教育。これしかないと思う。方法は簡単だ、親が、バカな〇〇党の口車などには乗らず、行政への「たかり」行脚を止め、フライドある生き方をすればいいだけのことだ。そこで一曲。♪ボロは着くても、心は一錦。どんな花より、きれい〜〜〜だぜ!

活動資金(協力)のお願い

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけて戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。 ※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっています。この、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願いいたします。

- カンパ金の主な使途は左記団体の活動の企画運営費です。 (注) 文接部(口図) 郵便振替 000008245954 MASUKI情報デスク 三番東京UFJ銀行千田支店0044399 普通 増本大
- ・ 活動の広報、資料等の発送費 ・ 道路公園使用申請料等 ・ 活動のための交通費、通信費 ・ 資料、横断幕、プラ等の制作費 ・ 備品購入費
- M情報が活動の企画運営を行っている主な団体
- ・ 救う会大阪
- ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・ 米国に原爆投下謝罪を求める会
- ・ 大阪の公教育を考える会
- ・ スパイ防止法の制定を求める会
- ・ 外国人参政権に反対する会・関西
- ・ 日教組の違法行為を追及する市民の会
- ・ NO! 民主「桜組」
- ・ 竹島を奪還する会・関西